

# 1960-1989

昭和56 - 平成元年

## 01 横浜美術館前史 1960-1989年

高度経済成長期に入り深刻化する都市問題を踏まえ、第17代市長、飛鳥田一雄は「六大事業」と呼ばれる大規模な戦略事業を打ち出した。こうした政策を背景に、横浜市が美術館の建設に向けて実質的に動きだしたのは、昭和56（1981）年のことであった。同年1月、「六大事業」の完成に尽力した第18代市長、細郷道一の諮問を受けて、横浜市文化問題懇談会が提言をまとめ、そこで「美術館は市民生活に不可欠な施設」と指摘された。この提言を踏まえ、同年6月に横浜市美術館基本構想委員会が設置された。翌年3月、同委員会の答申で美術館の理念が定められ、それに基づく大規模美術館の開館に向けて、同年6月、市民局に市民文化室が置かれ、昭和61（1986）年、同室内に美術館開設準備室が設置された。美術館の建設地は、「六大事業」の一環として開発された臨海部の三菱重工横浜造船所跡地「みなとみらい21」地区の中心部に決まった。丹下健三・都市・建築設計研究所による実施設計が、昭和60（1985）年9月にまとまり、12月25日に着工、同63（1988）年3月31日、建物が竣工した。

一方で、横浜市は昭和62（1987）年10月、美術館の運営を担う外郭団体として財団法人横浜市美術振興財団を設立した。また、翌年9月の市議会において、館の名称を横浜美術館（Yokohama Museum of Art）とすることを決定し、併せて同年9月24日、横浜美術館条例の公布を以て、開館の準備が整えられた。

こうして、横浜美術館は、横浜市制100周年、横浜開港130周年を記念して平成元（1989）年に開催された横浜博覧会のパビリオンとして開設され、博覧会終了後、11月3日、条例が施行されて正式開館にいたった。

西暦

横浜市

- 1960年
- 4月 文化体育館建設着工
  - 8月 『横浜美術人名鑑'60年版』刊行
- 1961年
- 1月 横浜マリントワー完成
  - 7月 港の見える丘公園建設着工
  - 9月 保土ヶ谷公会堂開館
- 1962年
- 5月 文化体育館落成
  - 12月 国際港都基幹計画を改定
- 1963年
- 4月 飛鳥田一雄が市長当選
- 1964年
- 4月 横浜市民ギャラリー開館
  - 10月 新横浜駅開業

国内文化

- 1960年
- 4月 ネオ・ダダイズム・オルガナイザー結成
  - 建築家・黒川紀章ら、メタボリズム宣言
  - 10月 大和文華館（奈良）開館
- 1963年
- 4月 国立近代美術館京都分館開館
- 1964年
- 1月 読売アンデパンダン中止
  - 8月 長岡現代美術館（新潟）開館
  - 10月 東京オリンピック開催
  - 11月 東京パラリンピック開催

時代背景

国内外の世相

- 1960年
- 1月 日米新安保条約可決、反対運動激化
  - 7月 第1次池田勇人内閣成立
  - 9月 ラオス内戦本格化
  - 10月 浅沼稲次郎日本社会党委員長、刺殺される
  - 12月 国民所得倍増計画を閣議決定
- ≫この年、「ダッコちゃん」人形はやる。流行語「三種の神器」
- 1961年
- 5月 韓国で軍事クーデター
  - ユーリ・ガガーリン、地球一周宇宙飛行に成功（ソ連）
- 1962年
- 10月 キューバ危機
- 1963年
- 7月 経済白書「先進国への道」発表
  - 11月 ジョン・F・ケネディ大統領、ダラスで暗殺される（アメリカ）
  - 12月 朴正熙、韓国大統領就任
- 1964年
- 8月 トンキン湾事件
  - 10月 ニキータ・フルシチョフ、ソ連共産党第一書記兼首相解任
  - 10月 東海道新幹線開業
  - 11月 佐藤栄作内閣成立

## 1960

## 1965

## 1970

## 1975

- 1965年
- 2月 『都市づくりの将来計画の構想』（六大事業）発表
  - ①都心部強化、②金沢地先埋め立て、③港北ニュータウン、④高速道路、⑤高速鉄道：地下鉄、⑥ベイブリッジ
  - 5月 こどもの国開園
- 1967年
- 3月 神奈川県立博物館開館
- 1968年
- 4月 飛鳥田一雄が市長再選
- 1969年
- 4月 旧横浜正金銀行本店が国の重要文化財指定
  - 1937年建設の英国総領事公邸を横浜市が取得、横浜市イギリス館開館

- 1965年
- 3月 明治村（愛知）開村
  - 7月 『ツタンカーメン展』（東京国立博物館）
- 1966年
- 1月 古都保存法公布
  - 7月 山種美術館（東京）開館
- 1967年
- 6月 京都国立近代美術館開館
- 1968年
- 6月 文化庁発足
  - 10月 第1回神戸須磨離宮公園現代彫刻展（兵庫）
- 1969年
- 5月 東京国立近代美術館新館完成
  - 11月 改組第1回日展

- 1965年
- 2月 アメリカ軍による北爆開始（北ベトナム）
  - 6月 日韓基本条約締結
  - 10月 朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞
  - 11月 いざなぎ景気始まる（1970年まで）
- 1966年
- 5月 文化大革命始まる（中国）
  - 6月 三里塚新国際空港反対同盟結成、成田闘争展開
- ≫この年、「交通戦争」の語生まれる
- 1967年
- 10月 吉田茂没、戦後初の国葬実施
- ≫この年、ミニスカート、グループサウンズ流行
- 1968年
- 1月 東大医学部学生自治会、無期限スト（東大紛争の発端）
  - 6月 小笠原諸島返還
  - 8月 チェコ事件
  - 10月 川端康成、ノーベル文学賞受賞
  - 12月 三億円事件
- ≫この年、ラジカセ商品化
- 1969年
- 1月 機動隊、東大安田講堂占拠の学生を排除
  - 1月 第1回ベトナムと平和拡大パリ会議
  - 5月 政府、初の公害白書発表
  - 7月 アポロ11号、月面着陸。史上初めて月面を歩く

- 1974年
- 7月 横浜市民ギャラリー、横浜市教育文化センター（関内）に移転



横浜市教育文化センター外観（1988年） 撮影：宮崎純安

- 1970年
- 3月 日本万国博覧会開催（大阪）
  - 4月 戦争記録画永久貸与、東京国立近代美術館に保管
  - 5月 著作権法改正公布
  - 5月 第10回日本国際美術展「人間と物質」開催（東京）
  - 10月 兵庫県立近代美術館開館
- 1971年
- 4月 外務省外交史料館（東京）開館
  - 7月 国立公文書館（東京）開館
- 1972年
- 外務省所管の特殊法人として国際交流基金設立
- 1974年
- 2月 レオナルド・ダ・ヴィンチ《モナ・リザ》を東京国立博物館展示
  - 6月 国立民族学博物館（大阪）設置

- 1970年
- 10月 女性解放集会、デモ（ウーマン・リブ）
  - 11月 三島由紀夫、自衛隊市ヶ谷駐屯地にて自殺
  - 12月 沖縄コザ市で暴動
- ≫この年、公害が全国に拡大、社会問題となる
- 1971年
- 6月 沖縄返還協定
  - 8月 ドル・ショック
  - 9月 林彪事件（中国）
  - 9月 日清食品、カップヌードル発売
  - 10月 中国、国連復帰決定。台湾国民政府、国連脱退声明
- 1972年
- 2月 札幌オリンピック開催
  - 2月 あさま山荘事件（連合赤軍）
  - 5月 沖縄返還
  - 7月 第1次田中角栄内閣成立
  - 9月 日中国交正常化
- 1973年
- 1月 ベトナムと平和協定、議定書調印（パリ）
  - 2月 為替レート、変動相場制に移行
  - 8月 金大中事件
  - 10月 第4次中東戦争始まる
  - 10月 第1次オイルショック
  - 10月 江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞
- 1974年
- 7月 ウォーターゲート事件。リチャード・ニクソン大統領弾劾訴追（アメリカ）
  - 8月 ジェラルド・R・フォード、アメリカ大統領就任
  - 10月 佐藤栄作、ノーベル平和賞受賞
  - 12月 三木武夫内閣成立
- ≫この年、新左翼による内ゲバ激化

- 1977年
- 12月 飛鳥田一雄市長、日本社会党委員長就任
- 1978年
- 3月 飛鳥田一雄、日本社会党委員長信任、横浜市長辞任
  - 4月 細郷道一が市長当選。「六大事業」の継承と完成に尽力
  - 5月 大佛次郎記念館開館

- 1977年
- 7月 返還戦争画の補修完了。東京国立近代美術館で8点公開



大阪万博 1970年4月12日 CC BY-SA 2.0

- 1975年
- 4月 ベトナム戦争終結
  - 7月 ヘルシンキ宣言
  - 11月 第1回先進国首脳会議 G6（フランス）
- 1976年
- 2月 ロッキード事件
  - 4月 中国、新首相・第一副主席に華国鋒就任
  - 8月 日中平和友好条約締結
  - 9月 毛沢東中国共産党主席没
  - 11月 ジミー・カーター、アメリカ大統領就任
  - 12月 福田武夫内閣成立
- 1977年
- 9月 日本赤軍による日航機乗っ取り事件
  - 11月 サダト（エジプト大統領）イスラエル訪問
  - 12月 ベギン（イスラエル首相）エジプト訪問
- 1978年
- 5月 新東京国際空港（成田）開港
  - 5月 初の国連軍縮特別総会開幕
  - 8月 日中平和友好条約調印
  - 12月 大平正芳内閣成立
- 1979年
- 1月 米中、国交回復。台湾、アメリカと断交
  - 3月 イスラエルとエジプト、平和条約調印（ワシントン）
  - 5月 マーガレット・サッチャー、先進国で初の女性首相就任（イギリス）
  - 6月 第5回先進国首脳会議開催（東京サミット）
  - 10月 朴正熙韓国大統領、射殺される
  - 12月 ソ連、アフガニスタンへ軍事介入
  - 12月 崔圭夏、韓国大統領に選出



建築

- 1981年
- ・1月12日 横浜市文化問題懇談会提言
- ・4月1日 横浜市文化基金条例制定
- ・10月26日 美術館基本構想委員会発足

- 1982年
- ・9月20日 横浜市美術館設計条件研究委員会発足
- 1983年
- ・4月9日 横浜市美術館設計条件研究委員会報告書提出
- ・4月20日 美術館基本構想を丹下健三・都市・建築設計研究所に委託
- ・10月 丹下健三・都市・建築設計研究所「横浜市美術館（仮称）新築工事 基本構想書」
- ・11月1日 美術館基本設計を丹下健三・都市・建築設計研究所に委託

- 1984年
- ・2月13日 美術館建設委員会発足
- ・5月1日 美術館実施設計を丹下健三・都市・建築設計研究所に委託
- ・8月頃 横浜市市民局「横浜市美術館（仮称）新築工事基本設計の概要について」
- 1985年
- ・8月1日か7月9日 美術館建設準備委員会設置。美術資料収集委員会と運営委員会より構成
- ・9月 横浜市市民局「横浜市美術館（仮称）実施設計について」
- ・12月25日 建設工事着手（竹中工務店ほか18社JV）

- 1988年
- ・3月31日 建物竣工
- 1989年
- ・2月28日 外構工事完了



横浜博覧会のちらし

運営

- 1982年
- ・3月18日 横浜市美術館基本構想委員会答申「横浜市美術館の基本構想のあり方について」
- 1983年
- ・「子どものアトリエ研究会」発足（1983-1988年）

- 1984年
- ・1月27日 美術館協会発足（出典：年報・記念誌）

- 1986年
- ・「市民のアトリエ研究会」発足（1986-1988年）
- 1987年
- ・10月1日 財団法人横浜市美術振興財団設立

- 1988年
- ・9月 横浜市議会において「横浜美術館 / YOKOHAMA MUSEUM OF ART」という名称採択
- ・9月24日 横浜美術館条例公布
- 1989年
- ・3月25日 横浜博覧会施設として美術館開設
- ・11月3日 横浜美術館条例施行・正式開館

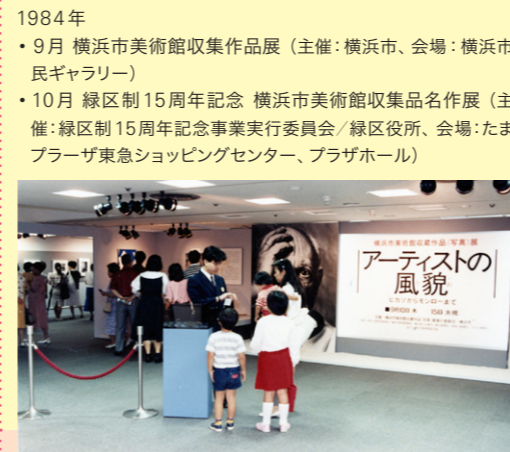
事業



「横浜市美術館収集作品展」会場入り口（1984年）



「横浜と近代日本の絵画展」のオープニングでスピーチする細郷市長（1986年）



「アーティストの風貌」展の会場入り口（1987年）

- 1986年
- ・1月『横浜市美術館（仮称）開設準備ニュース』No.1発行
- ・3月 アルプ展 横浜市美術館建設着工 記念（主催：横浜市 / アルプ財団 / 美術館連絡協議会 / 読売新聞社、会場：横浜市民ギャラリー）
- ・9月 横浜市美術館収集作品による横浜と近代日本の絵画展（主催：横浜市美術館収集作品展実行委員会 / 横浜市、会場：横浜高島屋ギャラリー 8階）
- ・9月『横浜市美術館（仮称）開設準備ニュース』No.2発行
- 1987年
- ・2月『横浜市美術館（仮称）開設準備ニュース』No.3発行
- ・9月 横浜市美術館収蔵作品（写真）展「アーティストの風貌」（主催：横浜市美術館収蔵作品（写真）展実行委員会 / 横浜市、会場：横浜高島屋ギャラリー 8階）
- ・9月『横浜市美術館開設準備ニュース』No.4発行

- 1988年
- ・3月『横浜市美術館（仮称）開設準備ニュース』No.5発行
- ・11月『横浜美術館開設準備ニュース』No.6発行



横浜市

- 1980年
- ・7月 第1回日本文化デザイン会議開催
- 1981年
- ・3月 横浜開港資料館設置
- ・5月 企画調整局に文化行政担当設置

- 1982年
- ・6月 市民局に市民文化室設置
- 1983年
- ・6月 市民文化振興協議会、美術館構想も含めた上申書提出
- ・11月 「みなとみらい21」地区事業、土地区画整理事業着工

- 1984年
- ・10月 県立神奈川近代文学館開館
- ・10月 大倉山記念館開館

- 1987年
- ・10月 久良岐能舞台開館
- ・10月 財団法人横浜市美術振興財団創設

- 1989年
- ・3月25日 横浜博覧会 YES'89開幕。横浜美術館、パビリオンのひとつとして開設

国内文化

- 1981年
- ・3月 シンポジウム「国際交流の理念と政策」開催（国際交流基金）
- ・7月 富山県立近代美術館開館
- ・11月 宮城県美術館開館

- 1982年
- ・1月 MOA美術館（静岡）開館
- ・9月 三重県立美術館開館
- ・11月 埼玉県立近代美術館、岐阜県立美術館、大阪市立東洋陶磁美術館開館
- ・12月 美術館連絡協議会発会
- 1983年
- ・11月 下関市立美術館（山口）開館

- 1984年
- ・7月 福島県立美術館開館
- 1985年
- ・3月 科学万博一つくば'85開幕
- ・8月 建築家・安藤忠雄、アルヴァ・アアルト賞受賞
- ・10月 新潟市美術館開館
- ・10月 SPIRAL（東京）開館
- ・11月 福岡県立美術館開館

- 1986年
- ・3月 世田谷美術館（東京）開館
- ・4月 静岡県立美術館開館
- ・7月 札幌芸術の森野外美術館（北海道）開館
- 1987年
- ・4月 町田市立国際版画美術館（東京）開館

- 1988年
- ・4月 名古屋美術館（愛知）開館
- ・5月 HARA MUSEUM ARC（群馬）開館
- ・10月 茨城県立近代美術館開館
- ・11月 川崎市市民ミュージアム（神奈川）開館
- 1989年
- ・2月 吉野ヶ里遺跡で最大の環濠集落発見
- ・3月 『日本美術院百年史』刊行開始

時代背景

国内外の世相

- 1980年
- ・5月 光州事件（韓国）
- ・5月 鈴木善幸内閣成立
- ・7月 モスクワ・オリンピック、日本不参加
- ・8月 韓国、全斗煥を大統領に選出
- 1981年
- ・1月 ドナルド・レーガン、アメリカ大統領就任
- ・4月 チャールズ皇太子、ダイアナ妃婚礼（イギリス）
- ・5月 フランソワ・ミッテラン、フランス大統領就任
- ・6月 華国鋒、中国共産党主席辞任、胡耀邦主席昇格。文革全面否定

- 1982年
- ・2月 日航旅客機、羽田空港前の海面に墜落
- ・5月 フォークランド紛争
- ・11月 中曽根康弘内閣成立
- 1983年
- ・1月 中曽根首相訪米、日本列島を「不沈空母」発言
- ・8月 フィリピン、アキノ元上院議員、マニラ空港で暗殺
- ・9月 ソ連空軍機、大韓航空機撃墜。乗客乗員全員死亡
- ・10月 東京地方裁判所、ロッキード事件丸紅ルート判決公判
- ・10月 アメリカ軍グレナダ侵攻

- 1984年
- ・3月～ グリコ・森永事件（かい人21面相）。ロス疑惑
- ・7月 ロサンゼルス・オリンピック、ソ連など15カ国不参加
- ・10月 インド、ラジブ・ガンジー首相就任
- ・12月 イギリス首相、中国首相、97年香港返還合意文書調印
- 1985年
- ・3月 ソ連、コンスタンティン・チェルネンコ共産党書記長死去、後任はミハイル・ゴルバチョフ
- ・6月 豊田商事事件
- ・8月 日航機、群馬県御巢鷹山に墜落。520人死亡
- ・10月 ゴルバチョフ書記長、「バレストロイカ」計画発表（ソ連）

- 1986年
- ・2月 フィリピン、アキノ大統領就任を宣誓、マルコス亡命
- ・4月 ソ連、チェルノブイリ原発事故
- ・5月 東京で第12回主要先進国首脳会議開幕、G7新設
- 1987年
- ・1月 胡耀邦中国共産党総書記辞任、後任は趙紫陽首相
- ・2月 日銀、公定歩合を引き下げ。「超低金利時代」突入
- ・5月 朝日新聞阪神支局、襲撃され記者死亡。赤報隊
- ・10月 利根川進、ノーベル生理学・医学賞受賞
- ・11月 竹下登内閣成立

- 1988年
- ・1月 李登輝、台湾総統就任
- ・2月 盧泰愚、韓国大統領就任
- ・7月 リクルート事件
- ・9月 昭和天皇、大量の吐血と下血、容体悪化
- ・12月 参院本会議で、税制改革関連6法案可決
- 1989年
- ・1月7日 昭和天皇崩御。皇太子明仁親王即位
- ・1月 ジョージ・H・W・ブッシュ、アメリカ大統領就任
- ・2月24日 大喪の礼